

いこま 市議会のうごき

もっと知ろう、いこまのこれから。

No. 163

令和7年(2025年)

6月定例会

3月 6月 9月 12月



第6回観光フォトコンテスト
生駒市観光協会賞「まだまだ現役」

4月臨時会・6月定例会 議会役員を決定

INDEX

議案審議	P.2-3
一般質問	P.4-6
議決結果	P.7
正副議長就任あいさつ	P.8

HPでも詳細をご覧ください。
<https://www.city.ikoma.lg.jp/gikai/>



4月臨時会・6月定例会 議案審議

4月臨時会で

議会役員を決定

4月臨時会は、4月28日に開会し、正副議長の選挙をはじめ、議会役員を決定しました。

**議長に片山誠也議員
副議長に伊木まり子議員**

本会議での投票の結果、片山誠也議員が第55代議長に当選しました。

続いて、副議長選挙を行い、投票の結果、伊木まり子議員が第55代副議長に当選しました。

監査委員に改正大祐議員

議会選出の監査委員に改正大祐議員を選任することに異議なく同意しました。

また、常任委員会（企画総務、厚生文教、経済建設、予算）、議会運営委員会、広報広聴委員会、災害対策委員会および議会改革特別委員会の委員を選任するとともに、各委員会の委員長および副委員長を決定しました。

新議会役員は、市議会ホームページに掲載しております。



役員構成表はこちら▼

人事案件を審議

6月定例会において、公平委員会委員として林 功さんの選任に同意しました。

市内小学校体育館における
エアコン整備工事に関する
契約議案を全会一致で可決

この議案は、市内小学校の体育館において、冷風機を設置しているものの、体育館全体の温度を下げるには性能が不十分な状態であり、夏場における熱中症などの体調不良の防止や、災害時には避難所として利用される施設であることから、対象の小学校体育館にエアコンの整備工事を実施する契約を締結するものです。

○対象施設

鹿ノ台小学校、真弓小学校、あすか野小学校、生駒台小学校、俵口小学校、桜ヶ丘小学校、生駒小学校、生駒東小学校、吉分小学校、生駒南第二小学校の各体育館

○工期

令和8年2月27日まで



今後エアコンが設置されるあすか野小学校体育館

一般会計補正予算を全会一致で可決

6月定例会では、歳入・歳出にそれぞれ3166万9000円を追加する補正予算案が提案されました。

内容は、全国瞬時警報システム（Jアラート）の受信機更新に係る経費、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所運営に係る施設整備費用および備品に対する補助金ならびに下水道管路の全国特別重点調査に係る下水道事業会計への補助金の増額補正です。

なお、財源については、県からの補助金のほか、前年度からの繰越金などが活用されます。

令和7年度一般会計補正予算（第1回）の内容

項目	補正額
全国瞬時警報システム（Jアラート）の受信機更新に係る経費	506万円
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所運営に係る施設整備費用および備品に対する補助金	2,360万円
下水道管路の全国特別重点調査に係る下水道事業会計への補助金	301万円

印鑑条例の一部を改正する
条例を全会一致で可決

この議案は、従来、窓口での印鑑登

録証明の交付申請の際には、印鑑登録証の提示を必要としていましたが、印鑑登録証の提示に代えて、個人番号カード（マイナンバーカード）の提示をもって申請を可能とするともに、印鑑登録証明について、個人番号カードを用いて、スマートフォンやパソコンからオンライン申請をすることで、窓口に出向くことなく取得できるようにするものです。

意見書を国に提出

●地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書

意見書概要（要約）

消費者被害を防ぐためには、相談体制の確保や消費者教育の推進など、地方消費者行政の充実・強化が図られなければならない。

このことから、令和7年度末には多くの地方公共団体で国による交付金の一部が終了することや、消費生活相談に係る相談員の担い手不足、また、消費生活相談のDXにともなう経常的な費用の負担などに対し、地方消費者行政の安定的な推進のため、国においては、次の措置を行うよう強く要望する。

- 1 地方消費者行政を安定的に推進するための恒久的な財源を措置すること。

- 2 消費生活相談員の安定的な確保および処遇改善に係る制度設計を図るとともに、必要な予算措置を講じること。
- 3 国が進める消費生活相談のDXに係る予算を国の責任で措置すること。



消費生活に関する困りごとは消費生活センターへ

意見書全文はこちら▼



常任委員会のテーマを定めた調査の実施を決定

所管の事務を調査し、政策立案および提言につなげる「テーマを定めた調

査」を実施することを決定しました。今後、それぞれの委員会が担当課へのヒアリングなどを実施し、提言などを取りまとめいく予定です。

各常任委員会の調査事項

- ・企画総務委員会
「人事行政の課題について」
- ・厚生文教委員会
「終活支援事業について」

表彰状と感謝状が贈られました

全国市議会議長会から、正副議長を4年務められた功績と、昨年度に評議員として会務運営に努められた功績により、吉村善明議員に対して、表彰状と感謝状が贈られるとともに、市議会議員として10年間、市政の発展に尽くされた功績により、片山誠也議長、改正大祐議員および神山さとし議員に

対して表彰状が贈られ、本会議において、表彰状および感謝状の伝達ならびに報告が行われました。



神山さとし議員



改正大祐議員



片山誠也議長



吉村善明議員

＼ここが知りたい！／

本会議の一般質問

6月
5日～9日
定例会

質問者数 **11** 人

掲載以外の質問内容もありますので、
ホームページや後日発行の会議録をご覧ください。
二次元コードを読み取っていただくと、各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

問 市内の組織体制の人事管理と人事評価制度について



高杉千代子議員（無党派）



答 令和6年5月に第5次定員適正化計画を策定し、定年延長制度にも対応しつつ、職員の健康管理やワーク・ライフ・コミュニティ・バランスに配慮した働きやすい職場環境づくりにも取り組んでいくために適切な職員配置、適正な職員数と年齢構成の管理を行っている。

問 職員が適材適所に配置されるよう、人事課による各部署の巡回が大切と考えるがどうか。

答 現在も各部署を巡回して現場を把握する努力はしているところであるが、今後もしばかりだけ職員とのコミュニケーションを取っていききたいと考えている。

問 人事評価を適切に行うためには、部下職員とのコミュニケーションを通じて評価すべき点を把握することが必要で、マネジメントリダーとしての部長席をオープン化するオフィス改革を提案するがどうか。

答 オフィス改革については、現在総務課で進めており、実施にあたっては、開放的な部長席も目指しながら取り組んでいきたい。

他の項目
● 防災・減災施策について

特定福祉用具購入および住宅改修に係る受領委任払いの導入について



成田智樹議員（生駒市議会公明党）



問 介護保険サービスとして、特定福祉用具購入および住宅改修に係る費用の助成があるが、本市においては、利用者がいったん費用を全額支払うことが必要な償還払いが原則となっている。大阪府、京都府の本市と隣接する市においてはすべての市が、県内においても多くの市で受領委任払い（費用の1〜3割の費用負担のみで利用可）が導入されており、市民の経済的負担を軽減するため同制度を早急に導入すべきと考えるが、市の見解は。

答 県内では、特定福祉用具の受領委任払いを行っているのは3市、住宅改修では10市で実施されており、本市も住宅改修においては、市民税非課税世帯など一定の条件を満たす方に限り、受領委任払い制度を導入しているが、制度利用者は少ない状況である。制度見直しについては、課題などもあるが、他市の事例も研究し所得条件などは外した上で、できるだけ早期に実施したいと考えている。

組織づくりをどのように考えるのか



改正大祐議員（絆）



問 管理職の兼務が年々増加している状況をどのように評価するのか。

答 組織編成にあたり、組織を分けて整える必要性から、例えば室が最近増えているが、室に管理職を専門的に配置できるかどうかは全体のバランスが影響している。

また、管理職の希望者が減ってきていることも要因と考える。今後は負担を考慮し、兼務を避けるような人事配置を進めるべきと考えている。

問 組織改編時に組織を担当する企画政策課は人事課と協議を行っているのか。

答 連携しており、今後も密に連携し進めていきたい。

問 本年4月1日付人事異動で管理職がすべて異動した課があったが、組織の継続性をどのように考えているのか。

答 継続性は非常に大事なことでと認識している。課の管理職がすべて異動する場合もあるが、その場合には後任の管理職については経験者を配置するなど業務に支障のない配置を行っている。ローテーションの関係など人事異動には様々な要因が影響することから、できる限り業務の継続性を意識しながら今後も人事異動に取り組んでいきたい。



本市の農業政策について

白本和久議員（絆）

問 過去5年間における農道拡幅の実績は。

答 農道の拡幅実績がないことをふまえ、土地改良事業助成要綱を改正し、令和6年度から補助割合の引上げなど、農業者の負担軽減を図り、より利用しやすい制度となるよう改善したが、現時点で利用に至っていない。

問 なぜ利用に至らないのか。

答 農道の改修を進めるためには、地域の総意を含めて農家区から申請していただく必要があり、合意形成に時間を要する場合がある。

また、一定程度の費用負担が必要であることから、制度利用に至っていないと想定している。

問 農道における交通事故は、過去10年で何件あったのか。

答 記録が残っている平成28年4月以降、道路や農地への進入口などで農業用機械が転落や横転した事故は3件あった。

問 事故防止のため、田植えや稲刈りの時期に合わせた農道の路肩補強などはできないか。

答 情報を待つだけでなく、こちらから積極的に協議を行い、助成制度を利用していただけるよう働きかけていきたい。



廃棄物のリサイクル対策について

恵比須幹夫議員（生駒市議会公明党）

問 清掃センターで焼却している大型のプラスチック製品の処分量は把握しているのか。

答 大型ごみ中のプラスチック製品の年間量は約4万キログラムである。

問 大型のプラスチック製品を焼却せず、中間処理業者が持ち帰り、家電製品のプラスチック同様にリサイクルする「生駒方式」を検討しては。

答 同じプラスチック素材であるにもかかわらず小型のプラスチックは焼却処理し、大型のプラスチックのみリサイクルすることで、分かりにくい状況になることも考えられるため、プラスチック製品全体のリサイクル方法は良いのか検討したい。

問 ペットボトルキャップの「水平リサイクル」を目指す動きが複数出ている。将来に備え、新たなキャップ回収の方法を検討する必要があると考えるが市の見解は。

答 新たな分別収集の区分を設けるとコストがかかる。できる限り安価で、かつ作業的な手間がかからない手法で回収できるのかどうかも含めて検討・研究したい。

他の項目

●蛍光灯の2027年問題への対応について



災害時におけるペットとの「同行避難」体制の強化について

山下一哉議員（生駒市議会公明党）

問 本年11月に予定されているペットとの同行避難訓練の周知方法は。

答 ホームページやSNSなどの活用以外にも、幼稚園や小・中学校の保護者への案内などの様々な機会を通して周知を図り、より多くの市民に参加いただける手法を検討したい。

問 ペット同行避難を前提とした「避難所運営の標準モデル」の作成・普及について検討する考えは。

答 避難所は様々な方が集まって共同生活することから、まずは今年度実施する避難所宿泊訓練の結果をふまえ、避難所の標準レイアウトモデルを作成し、来年度以降、各自治会・自主防災会に普及させたい。

問 災害時における動物病院やペット関連事業者との連携についての認識は。

また、狂犬病予防注射などの機会に併せた防災啓発は可能か。

答 ペットとの避難を考える上では、獣医団体や民間事業者などとの連携・関係性の構築が非常に重要であると考ええる。

また、狂犬病予防集合注射の実施に併せてパンフレットを配布するなど、ペットに関する防災意識向上に向けて、防災担当と連携したい。



投票率向上への更なる取組について

辰巳綾子議員（日本維新の会）

問 期日前投票の状況と、投票日前日の投票者数はどうか。

答 昨年の衆議院議員総選挙では、投票日が近づくにつれて増えていく傾向にあり、投票日前日の土曜日は、平日の約2倍の投票者数である。

問 入場整理券の郵送時に、投票に行きたくならないような、ナッジになるメッセージなどを工夫しては。

答 選挙啓発広報にはナッジが重要な観点と考えており、他市の事例も調査研究して取り組んでいきたい。

問 子どもの頃から、親子で参加できる取組は。

答 公職選挙法の一部改正により、幼児に加え18歳未満の児童・生徒も有権者と同伴の上、投票所に入るということが可能となり、有権者となる前から家庭での選挙や政治の会話を身近なものと考え、投票所へ行く機会を経験することは、子どもたちの将来の投票行動に結びつくものと考ええる。

問 投票は、市民一人一人の大事な行動であり、次回にもつなげる効果として、投票済証を導入してはどうか。

答 現在も制度として希望者には交付しているが、選挙啓発の一環としてデザインを工夫するなど、他市の事例も参考に調査研究していきたい。



物価高騰下における子育て世帯への支援について

芦谷真治議員（日本維新の会）

問 現在、物価高騰対応として子育て世帯に講じている施策は。

答 住民税非課税世帯に対し、1世帯あたり3万円の給付に加え、18歳以下の児童がいる世帯には児童1人あたり2万円の子ども加算を行っている。また、0〜2歳児までの第2子保育料無償化や、物価高騰を考慮した就学援助費の算定、さらに、小・中学校の給食費について、現在は原材料費高騰分を市が補填し、値上げを避ける措置を講じている。

問 今後、早急に求められる子育て世帯への物価高騰支援は。

答 これまで国の交付金を活用し様々な支援に取り組んできたが、財政負担の面で、市単独で支援することについては慎重な検討が必要だと考えている。今回、国から物価高騰に対する交付金が改めて交付される見込みであることから、使途について協議していきたいと考えている。

問 この物価高騰下において、短期間でも給食費無償化は実施できないか。

答 これまでも県の市長会を通じ県に対して要望を続けているが、県の動向を見ながら引き続きしっかりと検討していきたい。



住宅セーフティネット法改正にともなう課題は

塩見牧子議員（無党派）

問 住宅セーフティネット法が改正され、住宅確保要配慮者に対して住まいの確保と生活のサポートを一体で提供する居住サポート住宅の認定制度が創設されることになったが、本市における居住支援のニーズは。

答 また、セーフティネット登録住戸は十分に確保できているか。

答 国の統計データから推計した約350世帯に加え、高齢者以外のニーズも考慮する必要があると考える。また、民営のセーフティネット住宅と市営・県営住宅を合わせて379戸あり、需給バランスは保たれていると考えるが、今後のニーズ増加の可能性を考慮し、周知に努めたい。

問 居住サポートには、住宅、福祉部局の行政と居住支援法人、不動産や福祉関係団体間の連携が重要であり、法改正により居住支援協議会の設置が市の努力義務となったが、市はどうしていくのか。

答 従来の県居住支援協議会に加え、構成団体などが共通する重層的支援会議の枠組みなどを活用しながら、効率的な運営を検討したい。

他の項目

●公益通報者保護について



公共交通とまちなか環境の充実を目指して

加藤裕美議員（無党派）

問 生駒市が今後も「住みたい」「安心して暮らせる」まちであり続けるためには、公共交通の充実が必要と考える。たけまる号について、土日祝の運行や高齢者向けの割引制度の導入を検討してはどうか。

答 運行継続に係る評価基準により、現在の利用状況を考えると土日祝の運行の拡大は難しいと考える。高齢者に対しては「生きいきクーポン券」でたけまる号の回数券購入やICカードへのチャージが可能であり、一定の支援は実施されている。

問 通学に不便な地域への支援策についての市の見解は。

答 既存の公共交通機関での活用範囲内になるが、今後も通学の支援を図っていききたい。

問 市内の緑が減りつつあるが、「宅地等開発行為に関する指導要綱」の公園、緑地の設置や緑化基準の見直しを検討してはどうか。

答 指導要綱の基準は、県の開発許可基準を基に作成されており、まちづくりに関して一定基準以上の施設は整備されていると考える。

また、事業者から本市の指導に理解と協力を得られており、現時点で要綱の改正や基準の強化は考えていない。



保育ニーズへの対応について

浜田佳資議員（日本共産党）

問 近年、生駒駅周辺におけるマンション建設および菜畑駅近辺での戸建て建設で、子育て世代の流入が進み、保育ニーズが高まっている。特に3歳未満の保育ニーズに配慮することが喫緊の課題と考えるが、現状、これまでの取組およびその評価は。

答 本年4月1日時点の実質待機児童数は19人で、そのうち3歳未満児は18人であることから受入れ体制が万全でない状況が続いている。小規模保育所を9園開設するなど平成28年度以降3歳未満児定員を380人増加するとともに、資格をいかそう相談会などの保育士確保策を実施し、52人の採用につながった。

問 3歳未満の保育ニーズの課題にどこまで対応できるか。

答 また、緊急措置として何かを行うことは検討しているか。

答 保育士確保策を着実に進めるとともに、市立幼稚園の統合やこども園化が必要であり、こども園化の実現により3歳未満の待機児童解消につながると考える。緊急的な措置として既存保育施設の定員見直しや、園児数が減少している市立幼稚園の余剰教室を活用しての市内保育事業者による小規模保育所や分園の整備も考えられる。

令和7年4月臨時会・6月定例会の議決結果 全会一致で原案可決・承認・同意・了承とした議案

- ・市長専決処分の報告について(変更契約の締結について)
- ・市長専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)
- ・市長専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)
- ・令和6年度生駒市一般会計繰越明許費繰越計算書
- ・令和6年度生駒市下水道事業会計予算繰越計算書
- ・専決処分につき承認を求めることについて(生駒市税条例の一部を改正する条例の制定について)
- ・専決処分につき承認を求めることについて(生駒市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について)
- ・専決処分につき承認を求めることについて(生駒市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)
- ・生駒市監査委員の選任について
- ・令和7年度生駒市一般会計補正予算(第1回)
- ・令和7年度生駒市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)
- ・令和7年度生駒市下水道事業会計補正予算(第1回)
- ・生駒市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市税条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市生涯学習施設条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・市道路線の認定について
- ・市道路線の廃止について
- ・生駒市公平委員会委員の選任について
- ・財産の取得について
- ・生駒市小学校屋内運動場空調設備整備工事(その1)請負契約の締結について
- ・生駒市小学校屋内運動場空調設備整備工事(その2)請負契約の締結について
- ・地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書(案)

7月		6月				5月				
14日	24日	19日	17日	16日	13日	9日	6日	5日	30日	26日
広報広聴委員会	広報広聴委員会 議会運営委員会 6月定例会本会議	議会改革特別委員会 広報広聴委員会	企画総務委員会 予算委員会 予算委員会	厚生文教委員会 予算委員会	経済建設委員会 6月定例会本会議	議会説明会 全員協議会	議会運営委員会 6月定例会本会議	6月定例会本会議 議会説明会	全員協議会 議会運営委員会	議会説明会 議会運営委員会



議会のうごき

9月定例会の会議の予定

8月22日(金)13時	議案説明会
28日(木)10時	議会運営委員会
13時	全員協議会
9月2日(火)10時	本会議
3日(水)10時	本会議
4日(木)10時	本会議
5日(金)10時	本会議
10日(水)10時	経済建設委員会
11日(木)10時	厚生文教委員会 予算委員会
12日(金)10時	企画総務委員会 予算委員会
16日(火)13時	議案説明会(決算) 予算委員会
17日(水)10時	予算委員会
22日(月)10時	決算審査特別委員会
24日(水)10時	決算審査特別委員会
25日(木)10時	決算審査特別委員会
30日(火)10時	本会議

予定は変更する場合がありますので、市議会のホームページをご覧ください。だくか、お電話でお確かめください。

電話は、議会事務局(74-1111)内線5061までお問い合わせください。

これからの会議▼



就任あいさつ



伊木まり子 副議長

片山誠也 議長

私たちは、去る4月28日の臨時会にて議長と副議長に就任いたしました。議長は、議会を代表して、議場の秩序保持や議事の整理などを行うとともに、式典や審議会などに出席します。また、副議長は、議長の補佐をするとともに、議長が不在の際には、議長に代わってその職務を行います。今回、このような大役に議員各位から選出いただき、大変身が引き締まる思いです。市議会では、議会改革特別委員会を設置し、議会の活性化に向けた様々な取組についての議論を進めているところです。引き続き議員が一丸となり、市民のみなさまに寄り添い、闊達な話し合いが行われる議会を目指してまいりますので、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「いこま市議会のうごき No.162」アンケート結果

「いこま市議会のうごき No.162」で実施したアンケートの結果（一部）をお知らせいたします。

【問】「市政に関心のある事柄はありますか。」
(複数回答可)

回答選択肢	回答数
A 子育て・教育支援	8件
B 防災対策と安全管理	4件
C 公共交通と交通インフラの改善	5件
D 環境保護と清掃活動	1件
E 高齢者支援と福祉サービス	2件
F その他	1件
総回答数	21件

F「その他」の自由記述

・ペット禁止の公園が多いので、ペットが楽しめる公園がほしい

※ 詳細は市議会のホームページをご覧ください。

「マチイロ」のご案内

「いこま市議会のうごき」をスマートフォンおよびタブレットでご覧いただける「マチイロ」を利用した配信を行っています。ぜひ、ご利用ください。

導入方法

- ① 「マチイロ」のアプリをインストール
- ② 性別・生年月日を入力し、居住地に「生駒市」を選べば設定完了です。
- ③ 自動的に最新号を配信します。

インストールはこちら▼



「いこま市議会のうごき」アンケート

今後の編集の参考にさせていただくため、アンケートにご協力をお願いします。

回答方法 締切：8月15日(金)

【インターネット】 <https://www.city.ikoma.lg.jp/gikai/0000034099.html>

【FAX】 0743-74-9481

【郵便】 〒630-0288 生駒市東新町8番38号 議会事務局あて

※郵便の場合は、下のアンケートに記入のうえ切り取っていただき、はがきに貼り付けるか、封筒に入れて郵送してください。



「いこま市議会のうごき No.163」質問項目と回答

問1 年代をお伺いします。

A 18歳未満 B 18～39歳 C 40～64歳 D 65～79歳 E 80歳以上

問2 「いこま市議会のうごき」にどのような内容や工夫があれば良いと思いますか。(複数回答可)

- A 市民の声（市民からの意見や提案の紹介）
- B 議員の日常活動や横顔の紹介
- C 若者向けのコーナー（高校生や大学生の声など）
- D 議案や政策の要点を簡潔に解説
- E 写真や図を使ったわかりやすい紙面
- F 読みやすい文字サイズ・色使い・レイアウト G 現状で良い

問3 「いこま市議会のうごき」にどんな記事やコーナーがあればもっと読みたいと思いますか。ご自由にお書きください。

編集後記

4月臨時会において、引き続きのメンバーもいますが、新たな広報広聴委員が選任されました。

さて、前年度からの引継ぎ事項として、議会報の見直しという項目があります。議会報見直しの方向性として①議会報は報告書ではなく、議会に関心・興味を持ってもらうツール②読みやすいレイアウト③文字を少なく写真を多く、ということが挙げられています。

まずは各委員、デザイナーの基本について共通認識を図るため、デザイナーの研修会を開催しました。文字・整列の原則、余白、先進事例などを学び、これをベースに見直しを進めていく予定です。

一人でも多くの方に、ページをめくってもらえる議会報になればと思っています。